



暮らし便り～ディスポ手袋 特集～

no.31

2015年 5月号



宇都宮製作(株)は、『まもる』を製る！をスローガンに、日々品質向上の為の地道な努力を続けています。今回の特集では、当社独自の品質管理について、ディスポグローブに行う様々な製品検査をご紹介いたします。

製品検査の流れ

弊社では、海外で製造したディスポグローブ（使い捨て手袋）が入荷すると、その中から数箱を抜き取り、本社の品質管理室で製品検査を行います。

製品がコンテナ(約500ケース程)で入荷すると、製品ごとにその中の数箱が本社の品質管理室へ送られます。品質管理室では、届いた製品に応じて様々な検査を行っています。

どんな検査をするの？

基本的な検査は、「ピンホール試験」「引っ張り試験」「目視外観検査」の3種類。

強度と伸び率が基準を満たしているかを調べるため、ポリエチレン製以外の手袋について検査を行います※¹。天然ゴム(ラテックス)製、ニトリルゴム製、塩化ビニール(プラスチック)製等、その材質によってそれぞれ基準が設けられており、検査の結果が基準を満たしているかをチェックします。医療機器に分類される「検査・検診用」の手袋については、上記の検査に加え「老化試験」も行います。

(※¹ ポリエチレン製の手袋については必要に応じて、空気を入れ強度をチェックする「風圧検査」を行います。)

ピンホール試験



目に見えないような、小さな穴が開いていないかをチェック！

箱から数枚抜き取り、装置にセット！
1Lの水を手袋に注ぎ込んだら、約2分そのまま待機。
水漏れしたり、染み出したりしていないかをチェックします。

引っ張り試験

検査用にカットした手袋を機械でひっぱり、強度と伸び率をチェック！



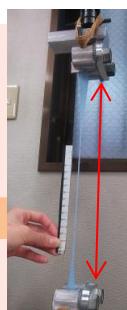
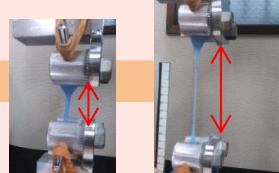
カットした手袋を機械にセット！

切れるまで引っ張って…

強度や伸び率を測定！

基準を満たしているかをチェック！

後ろの窓枠にご注目！
結構伸びているのがわかりますね。



※右記の写真は
シガーニトリルデイズ No.240PFです。

目視外観検査

最終的に、人の目で確認する目視検査を行います。



最後は人の目で見て、触って確認！

ベタベタしてない？ 色ムラは？ 汚れないかな？

強度や伸び率以外の不具合がないかをチェック！

●他の検査●

～宇都宮製作では、品質向上の為必要に応じて様々な製品検査を行います～

【老化試験】 医療機器に分類される「検査・検診用」の手袋に対して行います。

箱から抜き取った手袋を装置にセットし、70℃で約1週間入れ続けます。
(約半年後の状態を想定しています)

この後、サイズをチェックし、状態を確認。

引っ張り検査を行い、老化した際の強度や伸び率が基準値を満たしているかをチェックします。(対象:シガーニトリルデイズ No.2500PF検査・検診用)

【アルコール検査】 ニトリルゴム製の手袋に対し、必要に応じて行います。

手袋に空気を入れてふくらませ、アルコールを吹きかけて状態変化がないかチェックします。

『まもる』をつくつくる！



19号掲載【9188-8617】
生き活き
プラスチック手袋77
粉なし 100枚入
税別1,300円



19号掲載【9188-8530】
生き活き
プラスチック手袋88
税別1,200円